

都市再生整備計画 事後評価シート
若泉地区

平成28年6月

埼玉県本庄市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	埼玉県	市町村名	本市市	地区名	若菜地区			面積	173ha		
交付期間	平成22年度～平成26年度	事後評価実施時期	平成27年度	交付対象事業費	696百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業 公園(若菜第1公園、若菜第2公園、若菜運動公園)、地域生活基盤施設(情報板(本市市中央街))、高質空間形成施設(緑化施設等(本市市若菜))	提案事業 地域創造支援事業(本庄公共下水道事業(下水道用庫補助対象外管きよ))、まちづくり活動推進事業(地域再生ワークショップ事業)	事業名							
	当初計画から削除した事業	基幹事業 高質空間形成施設(緑化施設等(本市市若菜))	提案事業 —	削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
	新たに追加した事業	基幹事業 既存建物活用事業(旧本庄商業銀行煉瓦造倉庫活用事業)	提案事業 まちづくり活動推進事業(駅北地域まちづくりワークショップ)	用地取得の見通しが立たないため事業を削除する。		—					
		—		本事業が、目標の「水環境、緑環境の一体的な向上や歴史文化の発掘による地域環境の充実」に合致しており、実施することで目標達成に有効な効果を及ぼすと考えられるため、追加する。		なし					
	交付期間の変更	当初 変更	— —	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		—					
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標1	地域内の体育施設の年間利用人数	単位	従前値	目標値	数値	目標	1年以内の	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
			人/年	94,167	人/年	100,000	H26	モニタリング			評価値
	指標2	公園で展開される各種イベントの参加人数	単位	従前値	目標値	数値	目標	1年以内の	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
			人/年	14,635(若菜公園核まつり+本庄公園まつり)	人/年	18,000	H26	モニタリング			評価値
	指標3	元小山川における水辺のサポーター登録団体数	単位	従前値	目標値	数値	目標	1年以内の	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
			団体	1	団体	2	H26	モニタリング			評価値
	3)その他の数値指標 (当初設定した数値目標以外の指標による効果発現状況)	その他の数値指標1	駅からハイキング(本庄七福神めぐり)の参加人数	単位	従前値	目標値	数値	目標	1年以内の	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
				人	1,300	H21	—	956	モニタリング		
	その他の数値指標2	オープン古ハウスの参加人数	単位	従前値	目標値	数値	目標	1年以内の	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
人			150	H25	—	300	モニタリング	評価値			達成度
4)定性的な効果発現状況	若菜運動公園でイベントを開催することで、地域の交流・賑わい場としての機能が果たした。若菜第1公園及び若菜第2公園を整備できたことで、住民の憩いと集いの場を提供することができた。若菜地区まちづくりワークショップを開催したことで、若菜地区に対しての住民意見の反映や、まちづくりの関する住民の積極的な参加へ繋がった。										
5)実施過程の評価	モニタリング	実施内容		実施状況		今後の対応方針等					
		—		—		都市再生整備計画に記載し、実施できた					
		—		—		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した					
	住民参加プロセス	若菜地区まちづくりワークショップの開催 【実施頻度】計5回 【実施時期】平成23年1月～2月 【参加人数】老人クラブ連合会、児童連帯福祉会、自治会、子育て団体など各団約40人 【実施内容】公園の改善箇所、市民プール跡地の活用プランの検討、改修計画の案の検討について、作業用いながら作業シートに開催した。		都市再生整備計画に記載し、実施できた		●					
		旧本庄商業銀行煉瓦倉庫の一般公開、全国展示「旧本庄商業銀行煉瓦倉庫と本庄藩のおゆみ」、シンポジウム「旧本庄商業銀行煉瓦倉庫のこれからを考えよう」の開催 【実施頻度】計2回 【実施時期】平成25年6月 【参加人数】計50人 【実施内容】建物の一般公開や企画展示、基幹報告、パネルディスカッション、アンケートが実施された。		都市再生整備計画に記載し、実施できた		—					
		意見交換会「旧本庄商業銀行煉瓦倉庫の利活用と運営方法を考えよう」の開催 【実施頻度】計1回 【実施時期】平成26年2月 【参加人数】約50人 【実施内容】市が検討した建物の附属改修方針等の報告、施設の運営方法に関する意見交換が行われた。		都市再生整備計画に記載し、実施できた		—					
		—		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		●					
		—		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		—					
		—		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		—					
		—		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		●					
持続的なまちづくり体制の構築	本庄まちNEIによる「オープン古ハウスの開催」 【実施頻度】現在まで4回開催(平成28年5月に1回開催予定) 【実施時期】平成25年～ 【参加人数】市内外から初回150人、その他の回100人 【実施内容】市に残る古い建物(古ハウス)公開、イベント会場として活用し、「古い生活」を通して「これからの暮らし」を提案した。		都市再生整備計画に記載し、実施できた		—						
	—		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		●						
—		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		—							

様式2-2 地区の概要

若泉地区(埼玉県本庄市) 都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標:豊富な地域資源を活用した活力に満ちた現代版「若泉の荘」の創出		地域内の体育施設の年間利用人数	単位:人/年	94,167	H20	100,000	H26	141,898	H26
目標1:旧市民プールの再生による市民一人1スポーツの推進。		公園で展開される各種イベントの参加人数	単位:人/年	14,635	H21	18,000	H26	18,809	H26
目標2:リバーサイドコンプレックス整備計画のコンセプトを踏まえた安全かつ快適な公園環境づくり。		元小山川における水辺サポーター登録団体数	単位:団体	1	H21	2	H26	1	H26
目標3:水環境、緑環境の一層の向上や歴史文化の啓発による地域環境の充実。									

公園整備箇所

公共下水道整備箇所

中山道地名板設置箇所

2 基幹事業(公園)
若泉第1公園の段差の解消

3 基幹事業(公園)
若泉第2公園の園路の舗装整備

4 基幹事業(地域生活基盤施設)
歴史民俗資料館前案内板の設置

1	スポーツ振興補助事業(グラウンド整備)
2	公園遊具更新事業(地域活性化経済対策臨時交付金関連事業)
3	元小山川浄化活動推進実行委員会事業
4	第二期水辺環境改善緊急行動計画(清流ルネッサンスII)関連事業
5	ムサシミヨ移動試験
6	アジサイ鑑賞事業
7	若泉公園桜まつり
8	本庄公園まつり

基幹事業	公園	1	若泉運動公園再整備事業
		2	若泉第1公園再整備事業
		3	若泉第2公園再整備事業
	地域生活基盤施設	4	中山道旧地名板等設置事業
	既存建造物活用事業	5	旧本庄商業銀行煉瓦造倉庫活用事業
提案事業	地域創造支援事業	1	本庄公共下水道事業(下水道園庫補助対象外管きよ)
	まちづくり活動推進事業		地域再生ワークショップ事業
			本庄駅北口活性化ワークショップ事業

1 基幹事業(公園)
若泉運動公園内に多機能トイレの設置

1 基幹事業(公園)
テニスコートの人工芝化

まちの課題の変化

- 旧市民プールの跡地活用プラン等について、ワークショップ等を通じ、利用者のニーズに応えた施設づくりを行ったことで、住民のスポーツ意識の向上を図ることができた。
- 若泉運動公園の駐車場には障がい者用の駐車スペースを整備し、付近には多機能トイレを含むトイレ棟を新設したことで、多様な利用者に配慮した空間を確保することができた。
- 主にイベント会場として利用がある若泉運動公園周辺には、整備した若泉第1公園や若泉第2公園があり、主に園内舗装の段差等を解消した。
- 住民の災害に対する備えや適切な誘導を行えるよう、安全・安心な空間を確保することが必要である。
- 若泉運動公園、若泉第1公園、若泉第2公園のそれぞれが連携し、公園間のネットワークの充実できるように、更なる歩行環境の快適性の向上が必要である。
- 江戸時代に料亭や旅館を営んでいた小倉家の邸宅「小倉山房」の周辺に建てられた石碑について、それらを紹介する情報板を付近に設置したことで、地区内外から訪れた人に歴史文化的背景を周知することができた。
- 住民が水環境・緑環境に対して自発的・継続的に活動を行えるよう、意識の高揚を図ることが必要である。
- 明治時代に建てられ、本庄の発展を象徴する歴史的・文化的建築物である「旧本庄商業銀行煉瓦造倉庫」について、煉瓦造を残して改修を行ったことで、歴史的価値を継承した保存をすることができた。
- 旧本庄商業銀行煉瓦造倉庫を地域の交流拠点として持続的に運営が行えるよう、住民と協働による管理・運営を行うことが必要である。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- 今後も住民のスポーツ意識の向上を図るため、施設利用が快適にできるよう努めるとともに、子どもからお年寄りまで誰もが主体となったスポーツイベントを実施することで、更なる利用者数の増加を図る。
- 今後も地区の歴史文化的背景を訪れた人に理解していただくため、情報発信の場を確保できるよう努めるとともに、歴史的環境・資源を活用したイベントを実施することで、歴史的・文化的建築物等の保存・継承を図る。
- 住民の災害に対する備えや適切な誘導を行うため、公園に防災機能を持たせるよう努める。
- 住民が水環境・緑環境に対して自発的・継続的に活動を行うため、効率よく河川愛護活動等ができるよう努めるとともに、活動紹介や身近な環境問題等の情報を提供することで、更なる地域の環境美化団体数の増加を図る。
- 地域交流拠点施設において持続的な運営を行うため、施設の管理・運営にあたり様々な企画や住民との協働を促進しながら、住民のニーズに合った施設の充実を図る。
- 若泉運動公園、若泉第1公園、若泉第2公園のネットワークを充実するため、円滑な歩行環境の確保に努めるとともに、公園間の回遊性による交流を促進することで、更なるイベントの参加人数の増加を図る。
- 若泉運動公園内に整備した施設の利用に伴い、新たに発生した要望を踏まえた空間の整備が必要である。